



(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ
特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR,
GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SK, TR), OAPI 特
許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR,
NE, SN, TD, TG).

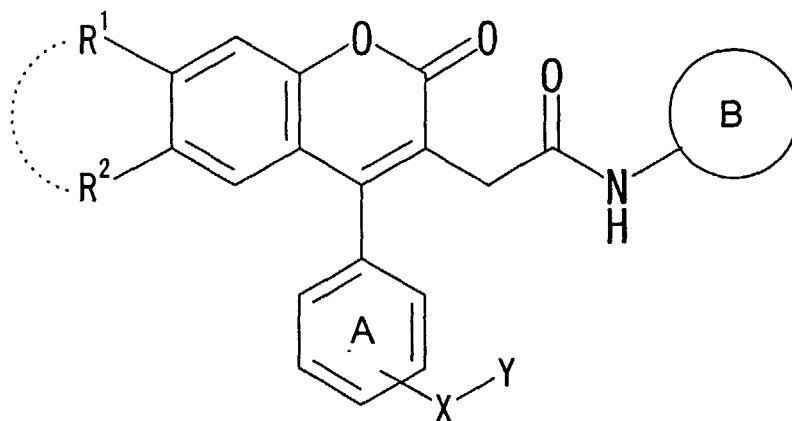
2文字コード及び他の略語については、定期発行される
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類：
— 国際調査報告書

(57) 要約:

リピド・リッチ・プラーク退縮剤または／およびACAT阻害剤として有用な、

式〔I〕



〔I〕

〔式中、R¹およびR²はそれぞれ水素原子、ハロゲン原子、置換基を有していてもよい鎖状炭化水素基または置換基を有していてもよい鎖状炭化水素基で置換されていてもよいヒドロキシ基を、またはR¹およびR²は一緒になって隣接する炭素原子とともに置換基を有していてもよい環状炭化水素またはオキシ化されていてもよいジヒドロフラン環を形成していてもよく、A環はさらに置換基を有していてもよいベンゼン環を、B環は置換基を有していてもよい芳香環を、Xは結合手または主鎖の原子数1ないし6のスペーサーを、Yはエステル化されていてもよいカルボキシル基、置換基を有していてもよいカルバモイル基、シアノ基、または置換基を有していてもよい脱プロトン化しうる水素原子を有する複素環基を示す。〕で表される化合物またはその塩を提供する。